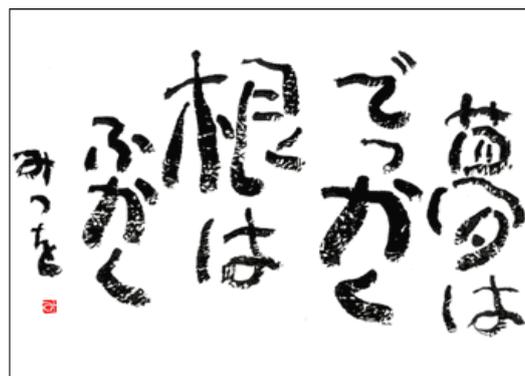


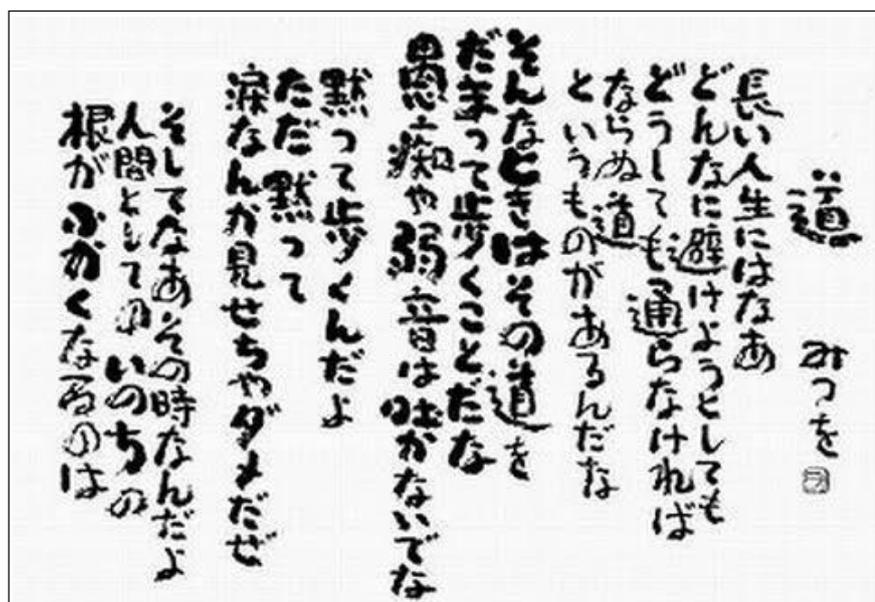
4 / 8 校長室より No.3

〈入学式 式辞より〉

皆さんは、相田みつをという人を知っているでしょうか。詩人であり書道家で、「つまづいたっていいじゃないか、人間だもの」という作品は、とても有名です。その相田みつをさんの言葉です（右参照）。



夢を持つことの大切さは、よく言われます。但し、それだけでなく、相田さんは続けて「根は深く」と言っています。どういうことでしょうか。実は、相田さんは、この「根は深く」ということについて、「道」と題する詩でこんなことを言っています（下参照）。



普段目に見えませんが、大きな木は地中深くまで根を張っているものです。もし根っこが発達していないまま、それ以上大きな木になろうと枝を伸ばしたら、重みに耐えられず、すぐに倒れてしまうでしょう。同じように人として大きくなろうと思えば、また大きな夢を叶えようとするなら、目

に見えない根の部分の深く伸ばしていかなくてはなりません。そして、根が深くなるのは、通らなければならぬ道を歩いている時だと言っています。それは、①やるべきことはやる、②つらい状況から逃げない、③地道な努力をする、④簡単に人のせいにならない、⑤弱い自分も受け入れる、こんなことが大切なのではないでしょうか。

「夢はでっかく、根は深く」

大きな夢を持つと同時に、地道に人としての基礎・土台を築いていくことが大事だと気づかせてくれる言葉です。ぜひ、この言葉をかみしめ、人間としての根を深くする3年間にしてください。